

勇気は、人を守る力になる

東中学校2年
水野 萌依子

「少しくらい大丈夫。」もし仲の良い友達がそう言って悪いことをしようとしていたら、私は何て言うのだろう。嫌われたくないという気持ちから、何も言えなくなってしまうかもしれない。しかし、本当に友達のことを大切に思うなら、それでいいのだろうか。私はこのテーマを見たとき、「本当の友達ってなんだろう。」とあらためて思いました。

私は犯罪や非行は「悪い人」が起こすものだけではないと思う。軽い気持ちで誘いに乗ってしまったり、誰にも悩みを相談できず、一人で苦しんだ結果、間違った道を選んでしまったりする人もいないのではないだろうか。もちろん、犯罪や非行は決して許されるものではない。しかし、ただ「悪いことだからしてはいけない」というだけでは本当の解決にならないと思う。なぜそのような行動を選んでしまったのかを考え、周りの人が支えることも大切なのではないだろうか。

例えば、いつも明るかった友達が急に一人でいることが増えたり、元気がなくなったりしたとする。そのとき、「最近どうしたの」「何かあった」と声をかけるだけで、その友達は、「自分のことを気にしてくれる人がいる」と感じられるかもしれない。誰にも相談できずに苦しんでいる人にとって、その一言が大きな支えになることもあるだろう。私はそんな小さな思いやりが、犯罪や非行を防ぐきっかけになるのではないかと思う。

また、家族との絆もとても大切だと考える。毎日少しでも会話をしたり、その日の出来事を話したりするだけでも「困ったときは相談できる」という安心感が生まれる。もし失敗をしてしまっても、一人で抱え込まずに相談できる相手がいれば、大きな間違いになる前に立ち止まることができるはずだ。家族だけでなく、先生や地域の人など、信頼できる大人が身近にいることも大きな支えになると思う。

もし私の友達が悪いことをしようとしていたら、私は勇気を出して「やめよう」と伝えたい。もしかすると、友達に嫌われてしまうかもしれない。それでも本当に友達のことを大切に思うなら、間違っていることをそのままにすることはできないと思う。もし自分一人ではとめられないときは、先生や家族など信頼できる大人に相談したい。それは友達を裏切るのではなく、その友達を守ることにつながるからだ。

犯罪や非行のない社会は、一日でつくれるものではない。しかし、一人の勇気が一人を救い、その一人がまた誰かを救う。そんな思いやりの輪が少しずつ広がれば、社会はきっと今より安心して暮らせる場所になるはずだ。本当の友達とは、一緒に笑う人だけでなく、間違ったときに「それは違うよ」と伝えられる人だと私は思う。私も思いやりと勇気を忘れず、人を守る人になりたい。そして、その小さな行動の積み重ねが、犯罪や非行のない未来につながると思う。私は信じている。